

# 「SALES DATA」サービス概要図（背景/技術目的）

## サービス作成背景

様々な会場/エリアで商品販売を実施するが、最適な場所で最適な商品を「売りたい」というのが多くの企業の思いである。そこで各会場での販売実績をデータとして蓄積する事で、「最適な選択」のサポートが出来るアプリを作成したいと思った。①会場データ（エリア/会場/店舗名など）と、②接客データ（顧客層/販売プロセス結果/購入または失注理由など）を収集し、組み合わせる事で、接客販売における課題点を洗い出し、改善サポートに繋げる事ができる。昨今、多くの企業でビッグデータの活用が騒がれている中、今回の課題を完遂する事で、エンジニアになった後に本基礎経験が十分に活かされると考える。

## テーマ（概要）

名前：SALES DATA（“接客販売のデータ”の意味が込められる）

概要：①事前にマネージャーが登録した会場データを、スタッフ側は選択。

②都度の接客で、結果をアプリに報告（会場idに紐づいて）

③登録したデータはマネージャーが閲覧でき、販売戦略に活用できる。

→他のスタッフの実績が見えてしまうのでアカウント切り替えで閲覧制御

④会場データの登録/編集/削除・詳細では会場&接客データの紐付け

解決：

会場に紐づく顧客特性が見える化する事で、商品特性に合わせて会場実施場所を選択する事ができるようになり、販売リソースの効率活用化が図れる。

## 技術目的

- ・接客販売（稼働中）に使うため、シンプル/直感で操作できるデザインが重要
- ・大量の会場データ/接客データを登録するので、Excel読込/CSV出力に挑戦
- ・リアルタイムでスタッフが入力したデータをマネージャーアカウントで確認するため、データ連携/テーブル設計の理解や効率化の理解も深める